

平成30年度

事業報告の概要



学校法人 行吉学園

はじめに

「平成」の終焉とともに「令和」の御世を迎えました。本学においては、この4月から理事長ならびに学長、園長が新たに就任し、元号とともに新たな体制がスタートしたところです。先人の志を継承するとともに、これからの新たな時代に即した運営に力を尽くしてまいります。

さて、平成30年度は、建学の精神、教育綱領に基づき自立心・対話力・創造性を培うとともに、「社会的評価の引上げに向けた取り組み」、「教育・研究基盤の再構築と学修環境の充実、キャリア保障力の向上」、「教育、研究及び社会連携の向上と持続的発展を支えるための財政基盤の確立」等の中長期の方針に基づき、経営体質をより一層強化していくための様々な施策を展開してまいりました。

特に18歳人口の更なる減少期を迎えることから、本学の存立の目的と意義を再検証し、向こう5年間に進むべき教育、研究、運営上の基本的方向性とその施策からなる中期目標・中期計画の策定に教職員を挙げて取り組みました。中期目標は、教育、研究、社会貢献、学生支援、施設・設備、管理運営体制など、学園の全体を網羅した10項目の目標であり、中期計画はこれらを達成するために必要な詳細な施策です。今後、施策の実施を通じて、本学で培う能力や教育方法の特長を明確化し、本学の特色や魅力、将来に向け歩む方向性を広く社会へ示していきたいと考えています。

また、従来大学と短期大学との間で組織や運用が異なっていましたが、その一体的な運用により課題解消や効率化を図ることとし、準備を行ってまいりました。既に4月から一体的な運用を始動させています。

さらに、平成27年度に設置した看護学部が完成年度を迎え、本年3月に第一期生78名が卒業しました。看護師資格の合格率は全国平均を上回る97.4%となり、今後の社会での活躍を通して本学の名声が高まることを願っています。令和元年度の開設に向け準備を進めてまいりました大学院看護学研究科については、平成30年8月31日付で文部科学省から認可を受け、より高度な専門看護職をめざし、博士前期課程9名、博士後期課程5名の学生が入学しています。

学園運営では、「安定的財政基盤の確保」を目標に単年度ベースでの収支均衡体質への回復を基本として収支改善に取り組んでまいりました。平成30年度決算においては、収入面で学生生徒等納付金収入の増加等により、事業活動収入は6,139百万円と前年に比べて132百万円増加したものの、支出面において事業活動支出が6,505百万円と前年に比べて362百万円増加となり、基本金組入前当年度収支差額では366百万円の支出超過となりました。これは本年10月に予定されている消費税率の改定を予め見込んだうえ、本年度以降に計画していた大規模な施設修繕等を平成30年度内に施工したことにより一時的に経費が増加したものであります。令和元年度予算では収支改善を見込んでおり、財政状況は安定して推移しているものと考えています。

本学は、東京オリンピックが開催される令和2年度に創立80周年の節目を迎えます。今後も教育研究の質的向上と健全な運営に努め、地域・社会から求められる大学・短期大学をめざして、優れた学生の育成に尽力してまいります。そのためには、学長のリーダーシップのもと、教職員一人ひとりが持てる力を最大限に発揮し、その総合力をもって、中期目標・中期計画に基づく単年度の事業計画を着実に実施していくことが重要です。国、地域をはじめ関係の皆様のご支援ご協力をお願いします。

令和元年5月

学校法人行吉学園
理事長 行 吉 宜 孝

I 法人の概要

1 設置する学校・学部・学科等

(平成 31 年 4 月 1 日現在)

設置する学校	設置認可年月	学部・学科等		摘要
神戸女子大学 大学院	昭和 59 年 3 月	家政学研究科	食物栄養学専攻	
			生活造形学専攻	
		文学研究科	日本文学専攻	
			英文学専攻	
			日本史学専攻	
		健康栄養学研究科	健康栄養学専攻	
看護学研究科	看護学専攻	平成 31 年 4 月設置		
神戸女子大学	昭和 41 年 3 月	家政学部	家政学科	
			管理栄養士養成課程	
		文学部	日本語日本文学科	
			英語英米文学科	
			国際教養学科	
			史学科	
		健康福祉学部	教育学科	
			社会福祉学科	
看護学部	健康スポーツ栄養学科			
	看護学科			
		学校教育学専攻科		
神戸女子 短期大学	昭和 25 年 3 月	幼児教育学科		
		総合生活学科		
		食物栄養学科		
神戸女子大学附属 高倉台幼稚園	昭和 48 年 4 月			

2 学校・学部・学科等の定員と現員（平成30年5月1日現在）

（単位：人）

区 分	学部・学科等		入学定員	収容定員	現 員	摘 要
神戸女子大学大学院 (昭和59年4月設置)	家政学研究科 (博士課程)	食物栄養学専攻	前期	8	16	6
			後期	2	6	3
		生活造形学専攻	前期	6	12	5
			後期	2	6	3
		(小 計)		18	40	17
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	前期	4	8	0
			後期	2	6	0
		英文学専攻	前期	4	8	1
			後期	2	6	1
		日本史学専攻	前期	4	8	5
			後期	2	6	1
		教育学専攻	前期	4	8	0
			後期	2	6	4
	(小 計)		24	56	12	
健康栄養学研究科 (修士課程)	健康栄養学専攻	4	8	7		
(合 計)			46	104	36	
神戸女子大学 (昭和41年4月設置)	家 政 学 部	家 政 学 科	80	320	344	
		管理栄養士養成課程	160	600	646	3年次編入定員含
		(小 計)	240	920	990	
	文 学 部	日本語日本文学科	60	240	265	
		英語英米文学科	60	240	257	
		国際教養学科	40	160	208	平成30年4月名称変更
		史 学 科	60	240	246	
		教 育 学 科	165	660	697	
		(小 計)	385	1,540	1,673	
	健康福祉学部	社会福祉学科	80	320	281	
		健康スポーツ栄養学科	80	280	283	
		(小 計)	160	600	564	
	看 護 学 部	看 護 学 科	80	320	352	
	学校教育学専攻科			15	15	2
(合 計)			880	3,395	3,581	
神戸女子短期大学 (昭和25年4月設置)	幼 児 教 育 学 科		100	200	174	
	総 合 生 活 学 科		120	240	179	
	食 物 栄 養 学 科		120	240	188	
	合 計		340	680	541	
神戸女子大学附属高倉台幼稚園 (昭和48年4月設置)			100	200	159	
総 計			1,366	4,379	4,317	

*幼稚園の入学定員欄は募集可能人員を示す。

3 役員等の概要 (平成 30 年 7 月 1 日現在)

(1) 理事

[定数：8名 任期：4年]

区分	氏名	常勤・非常勤	
理事長	行吉 誠之	常勤	
副理事長	行吉 宜孝	常勤	学校法人行吉学園 法人本部長
理事	中島 實	常勤	神戸女子大学長・神戸女子短期大学長
	今井 修平	常勤	神戸女子大学 教授
	栗原 伸公	常勤	神戸女子大学 副学長
	伊吹 眞澄	常勤	学校法人行吉学園 財務部長
	根岸 成直	※非常勤	学校法人後藤学園 理事
	小川 清四郎	※非常勤	弘星テクノ株式会社 代表取締役社長

※学外者である理事

(2) 監事

[定数：3名 任期：4年]

区分	氏名	常勤・非常勤	備考
監事	横田 成樹	非常勤	
	亀井 尚也	非常勤	弁護士
	芳木 伸吉	非常勤	

(3) 評議員

[定数：20名 任期：4年]

選任区分		定数	現員
第1号	法人の職員で理事会において推薦された者のうちから評議員会において選任した者	5人	5人
第2号	法人の設置する学校を卒業した者で年齢 25 年以上のものの中から理事会において選任した者	9人	9人
第3号	学識経験者のうちから理事会において選任した者	5人	5人
第4号	神戸女子大学教育後援会会長	1人	1人

4 教職員の概要 (平成 30 年 5 月 1 日現在)

区分	法人本部	神戸女子大学	神戸女子短期大学	高倉台幼稚園	計
専任教員	—	181人	40人	7人	228人
専任職員	9人	72人	11人	3人	95人
計	9人	253人	51人	10人	323人

*平均年齢は、教員 52.6 才・職員 48.3 才である。

5 施設等の状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

(1) 土 地

区 分	所在地	面積 (㎡)	摘 要
須磨キャンパス	兵庫県神戸市須磨区	133,389.12	神戸女子大学専用
P I キャンパス	兵庫県神戸市中央区	24,524.84	神戸女子短期大学専用
三宮キャンパス	兵庫県神戸市中央区	4,931.00	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
高倉台幼稚園	兵庫県神戸市須磨区	2,566.58	高倉台幼稚園専用
小 計		165,411.54	
寄宿舎 (行幸寮・天神寮)	兵庫県神戸市須磨区	3,128.13	神戸女子大学専用
セミナーハウス	米国ハワイ州ホノルル	683.65	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎	兵庫県神戸市須磨区	382.34	
合 計		169,605.66	

(2) 建 物

区 分	面積 (㎡)	摘 要	
須磨キャンパス (兵庫県神戸市須磨区)	校 舎	26,631.74	神戸女子大学専用
	体 育 館	3,460.50	
	図 書 館	6,081.45	
	実 験 室	57.60	
	守 衛 室	68.76	
	ク ラ ブ 室	986.85	
	食 堂	2,115.98	
	会 館	246.80	
	小 計	39,649.68	
P I キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校 舎	10,855.36	神戸女子大学専用
		23,954.49	神戸女子短期大学専用
	守 衛 室	47.93	
	体 育 館	2,334.04	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
	小 計	37,191.82	
三宮キャンパス (兵庫県神戸市中央区)	校舎 (体育館を含む)	7,085.46	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
高倉台幼稚園 (兵庫県神戸市須磨区)	校 舎	1,398.61	高倉台幼稚園専用
寄宿舎 (行幸寮・天神寮) (兵庫県神戸市須磨区)		4,412.56	神戸女子大学専用
セミナーハウス (米国ハワイ州ホノルル)		1,074.67	神戸女子大学・神戸女子短期大学共用
職員宿舎 (兵庫県神戸市須磨区)		436.64	
合 計		91,249.44	

II 事業の概要

II-1 神戸女子大学・神戸女子短期大学

■教育活動

1 卒業生・修了者数の状況

平成30年度（9月卒業を含む）に所定の課程を修了し、卒業・修了した学生は以下のとおりである。

（単位：名）

区 分	学部・学科等		前 期	後 期	計
神戸女子大学大学院	家政学研究科 (博士課程)	食物栄養学専攻	2	0	2
		生活造形学専攻	1	0	1
		(小計)	3	0	3
	文学研究科 (博士課程)	日本文学専攻	0	0	0
		英文学専攻	0	0	0
		日本史学専攻	3	0	3
		教育学専攻	0	0	0
		(小計)	3	0	3
	健康栄養学研究科 (修士課程)	健康栄養学専攻	1	—	1
		(合計)	7	0	7
神戸女子大学	文 学 部	日本語日本文学科			51
		英語英米文学科			61
		神戸国際教養学科			35
		史 学 科			53
		教 育 学 科			172
		(小計)			372
	健康福祉学部	社会福祉学科			73
		健康スポーツ栄養学科			63
		(小計)			136
	家 政 学 部	家 政 学 科			78
		管理栄養士養成課程			158
		(小計)			236
	看 護 学 部	看 護 学 科			78
	学校教育学専攻科			2	
	(合計)			824	
神戸女子短期大学	総合生活学科				81
	食物栄養学科				89
	幼児教育学科				92
	(合計)				

2 国家試験の受験・合格状況

平成30年度における国家試験の受験合格状況は以下のとおりであり、いずれも高い合格率となった。

試験区分	受験者	合格者	合格率	全国平均合格率	全国新卒平均合格率
管 理 栄 養 士	152 名	147 名	96.7%	(60.4%)	(95.5%)
社 会 福 祉 士	56 名	44 名	78.6%	(29.9%)	(53.7%)
精 神 保 健 福 祉 士	9 名	9 名	100.0%	(62.7%)	(77.0%)
介 護 福 祉 士	16 名	16 名	100.0%	(73.7%)	(83.7%)
看 護 師	78 名	76 名	97.4%	(89.3%)	(94.7%)
保 健 師	20 名	19 名	95.0%	(81.8%)	(88.1%)
助 産 師	3 名	3 名	100.0%	(99.6%)	(99.9%)

3 授業評価の取り組み

神戸女子大学 FD・SD 委員会及び神戸女子短期大学 FD・SD 委員会が、以下の方式により実施した。

(1) 授業アンケート

大学及び短期大学において、学生の学修状況、満足度、理解度及び施設・設備に関する要望を把握するため、原則として全開講科目を対象に匿名性を担保した web 入力方式 [一部マークシート (大学)] により前・後期に各 1 回実施している。集計結果は、学内ポータルサイトよりフィードバックされている。

(2) 授業公開

大学においては、教員相互のピアサポートによる授業技術の向上を目的として、全開講科目を対象に実施している。今年度は、アクティブラーニングをテーマとして実施した。短期大学においては、教員間の授業公開については、実施状況を継続的、組織的に把握するため、IT システムを構築して実施した。

(3) 自己点検報告書

大学においては、「授業アンケート」の結果も参考に教員が自らの授業を省察する目的で作成し、FD・SD 委員会に提出することを義務付けている。また、学生に対する教育の質保証に対する取り組みの可視化を目指し、自由記載欄の内容を集計・整理したうえで教授会に提出して教員間で共有している。

短期大学においては、授業アンケート等については、学生の授業アンケートへの回答率を高めることを第一の目的に、IT システムやアンケートの内容を見直し、前期後期ともに「(学習成果に関する) 授業

アンケート」、「(教員による) 授業アンケートに対する評価」の 2 つの調査を実施した。目標とした学生の回答率は、見直し前より大幅に上昇した。

また、年度末には、授業改善の取り組みに関する内容として、大学では FD・SD 委員会統括責任者による講演、短期大学ではアクティブ・ラーニングを取り上げ、外部講師による講演に加え、委員会から授業アンケート結果を教員にフィードバックした。

4 シラバス作成の実績

大学においては、文部科学省、厚生労働省より指定された授業内容等に沿ってシラバスを作成し、教務委員による点検を経た後に、ホームページで公開した。なお、学生は学内ポータルサイトから閲覧することができる。また、各資格のシラバスガイドラインを作成し、ホームページで公開した。来年度の「授業計画書 SYLLABUS」の原稿作成にあたっては、各学科の教育目標と授業科目の関連を意識していただくために非常勤講師にも、各学科のディプロマポリシーとカリキュラムポリシーを含めた 3 つのポリシーを KISS システムで配信し、明示した。

短期大学においては、シラバス作成にあたり、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに沿った教育内容、到達目標の明確化及び質的向上を図り、全科目について各学科、関係委員及び教務委員会における組織的な点検を行った。大学と同様にシラバスはホームページで公開しており、学生は学内ポータルサイトにより閲覧が可能である。

5 成績評価の見直し

大学においては、教育の質保証を基に教育課程の体系化の一環として、成績評価基準の一つである GPA (Grade Point Average) 制度を平成 26 年度入学生より導入し運用している。また、平成 28 年度より、GPA 値 1.5 未満の学生について学科に情報提供を行い、学修指導等に活用している。GPA の活用方法については、教務委員会及び学科で引き続き検討している。

短期大学においては、学期毎に教授会へ学科別の GPA 分布を報告している。成績優秀者の表彰及び GPA 値 2.0 未満の学生を学科に情報提供するなど学修支援等に活用している。

6 教育課程の見直し

授業科目の順序性を明確にするためカリキュラムマップを作成し、ホームページで公開している。また、大学基礎力レポートの結果を活用し、学生の学力調査、意識調査を進めることにより、各学科のカリキュラムの授業内容の改訂に役立っている。

科目数・コマ数についてはスクラップ&ビルドの方針を徹底し、既に一部の学科では来年度カリキュラムから科目数・コマ数減を実施した。

7 CAP 制の運用

大学では、平成 20 年度入学生より、それぞれの学年で適切に授業を履修し、履修する科目の予習、復習や効果的に学習が行えるように履修登録単位数の制限を設けており、健康スポーツ栄養学科では、平成 30 年度入学生から履修制限を 58 単位から 54 単位に変更している。また、50 単位を超える学科には単位数をさらに下げるように教務委員会及び学科で引き続き検討していく。

8 障がい者学修支援

障がいのある学生の受け入れに関して学生支援室、特別支援委員会を中心として学修等の支援に取り組んでいる。平成 30 年度は、須磨において内部障害の学生に向けて長期ロッカー使用を認める等の整備を行った。また、ポートアイランドキャンパスでは、視覚障がい学生の受け入れに伴い、学修支援機器等の整備を行うとともに、外部支援機関との連携を図り、学生のニーズに応じた組織的対応の基盤づくりを行った。

9 全学共通教育

主な取り組みは以下のとおりである。

- (1) 看護学部における全学共通教養科目の円滑な実施
- (2) 基幹科目中、基礎 I、II、III、IV を中心とする「基礎およびキャリア関連科目」の再編、拡充
特に、準必修化にむけたクラスの再編と独自教科書の作成

- (3) 日本語教育の充実
- (4) 基礎学力レポートの入学生および 3 回生全員への実施
- (5) 全学共通教養科目の永続的な運営のための組織、制度再編の検討
- (6) 入学前 E-Learning の入学後における継続的実施
- (7) ホームページの刷新

10 単位互換制度の推進

- (1) ポートアイランド 4 大学連携単位互換制度
40 科目を開設し、学問領域も多分野にわたっており、4 大学間における教育交流の契機となっている。
- (2) 大学コンソーシアムひょうご神戸単位互換事業
「大学コンソーシアムひょうご神戸加盟大学間の単位互換事業に関する包括協定書」に基づき、平成 24 年度より単位互換事業に参加している。
- (3) 教員養成高度化システムモデルの構築・発信
単位互換の推進県内 6 大学との連携事業として、平成 30 年度は本学より「日本史学特論 III b」及び「栄養学特論」の 2 科目を提供し、兵庫教育大学の大学院生 3 名が遠隔講義システムを利用して「日本史学特論 III b」を受講した。

11 「ポーアイ教養科目」

平成 20 年度に文部科学省より採択された「戦略的 大学連携支援事業」における取り組みの一環として、「ポーアイ教養科目」10 科目を立ち上げ、平成 22 年度より開設しており、正規科目に位置付けられている。平成 30 年度は 4 大学で延べ 94 名の学生（うち神戸女子大学 14 名、神戸女子短期大学 34 名）が履修した。

12 ライブラリー・コモنزの活用

須磨キャンパスでは、ライブラリー・コモنزの設置から 5 年が経過し、学生に安定した学習支援プログラムを提供している。

PI キャンパスでは、図書館がアクティブ・ラーニングスタジオとして包括的に運用し、恒常的に教員との協働活動を活発に行っている。図書館リテラシー教育の他、教育活動やグループ学習、プレゼンテーションの練習や発表、学習成果の展示等、教員の講義でのアクティブ・ラーニングの導入や学生の主体的な学習活動の場として活用されている。また、教員による研究活動や国家試験などの補講や学習会が開催されるなど、大学・短大の区別なく多彩な活動が行われている。



13 国際交流事業の推進

(1) 海外研修等の実施状況

■静宜大学（台湾）交換留学プログラム合意書締結
平成 26 年に大学間協定を締結し、3 週間の中国語研修を実施してきた静宜大学と交換留学（半年/1 年）を実施することに関する合意書を締結した。来年度より年間 2 名の交換留学を実施する。

■オックスブリッジ・イングリッシュ・サマースクール
ケンブリッジ大学とオックスフォード大学の学生が組織する Oxbridge Summer Campus Abroad の学生を迎えて実施しているサマースクールには 20 名の学生が参加した。本プログラムをきっかけに、さまざまな国際交流に積極的に参加する学生が多くみられた。

(2) 海外からの留学生・研究者受け入れ

【留学生】

日本語日本文学科：華南師範大学 2 名
ウダヤナ大学 1 名
研修生（後期）1 名

【短期研修】

英語英米文学科：ケント大学学生 1 名
健康福祉学部：ウダヤナ大学医学部 4 名

■海外危機管理の強化に向けた取り組み

有事の際に迅速な対応ができるよう、海外危機管理マニュアルの情報を確認し、見直しを行った。

【研究者】

ウダヤナ大学医学部 講師／健康スポーツ栄養学科 1 名
(ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 HORN 研究者交流事業)
ウダヤナ大学医学部・文学部 講師／社会福祉学科 2 名
(日本・アジア青少年サイエンス交流事業・さくらサイエンスプラン)

14 図書館及び教室等の利用時間の拡大

ポートアイランドキャンパスでは、平成 30 年度より、図書館の開館時間を須磨キャンパス図書館に合わせて延長した。また、授業や試験、国家試験受験対策等に意欲的に取り組む学生への支援を目的として、平成 29 年度後期から図書館及び体育施設を除く教室等の施設利用時間の拡大を図るとともに、学生の安全確保のための管理体制を整備した。



(開館時間を延長したポートアイランドキャンパス図書館)

■研究活動

1 研究活動の状況

各教員の研究業績等については、学校教育法施行規則の規定に基づきホームページ上で公開している。また、研究を支援するために外部資金獲得に向けた各種学会、協会及び民間企業等の研究助成に関する情報収集を行い、関係学部・学科等に提供することにより研究活動の促進に努めている。

短期大学においては、科研費申請の増加、研究の活性化を目的に、採択に向けて啓蒙活動を活発に実施し、基盤研究C1件、挑戦的研究(萌芽)1件、若手研究1件の合計3件を申請した。

2 科学研究費助成事業の採択

大学においては、平成30年度は、応募件数42件、新規採択件数7件であり、継続分と併せた採択件数は、36件(40,170千円)であった。新規採択率は16%で、大学専任教員(助手除く)(156名)に対する採択率は23%であった。今後も応募件数及び採択件数の増加を目指し、学内個別相談会の開催及び採択者の応募書類の公開など、支援の一層の強化を図ることとする。

3 産学連携活動の取り組み

企業等との共同研究や受託研究及び企業等との連携による商品開発等を積極的に推進している。

【企業等との共同研究や受託研究等の状況(大学)】

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
共同研究・受託研究(継続含む)	5件	10件	11件
商品化・サービスの開始など事業化への貢献	4件	6件	6件
技術相談受け入れ件数	0件	0件	1件
特許の申請状況	0件	0件	0件

【商品開発等(大学)】

	企 業 名	内 容
1	(株)ハイジ	スイーツの共同開発
2	日本製麻(株)	パスタソースの共同開発
3	NPO法人ひと・コネクト兵庫	オリジナルレシピの提案、レシピ本の製作など
4	コープこうべ第3地区活動本部	レシピの開発
5	(株)神明きっちゃん	レシピの開発
6	ウオクニ(株)	社員食堂のメニュー開発
7	企業交流レマソン inKobe 実行委員会	弁当メニューの開発
8	昭栄堂製菓(株)	健康洋菓子共同開発

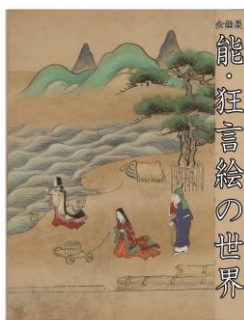
4 その他外部資金の採択状況

件数	交付元	研究課題名
1	平成30年度研究助成 (公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団)	「高血圧モデルラットの血圧に対する塩分と昆布出汁またはかつお出汁との交互作用」
2	平成30年度研究助成 (一般財団法人杉山産業化学研究所)	「ウォーキングを取り入れた高脂肪食摂取ラットにおけるオレウロペイン投与による脂質代謝への影響」
3	平成30年度研究助成事業 (公益財団法人伊藤記念財団)	「豚赤血球由来グロビンタンパク分解物を用いた高血圧症の改善を目指した研究」

5 古典芸能研究センター

古典芸能研究センターは、古典芸能に関する調査・研究ならびに社会への学術的貢献を目的として開設され、古典芸能や民俗芸能に関する書籍・資料を幅広く備えた研究施設である。学内・学外、学生・社会人を問わず利用可能であり、所蔵資料の公開を中心に展示や特別講座、シンポジウム、講演会等を行っている。

平成 30 年度は、学内外の貴重資料を紹介する「神戸女子大学古典芸能研究センター研究資料集」の第 2 冊目として『絵入謡本と能狂言絵』を公刊し、古典芸能研究センターと本学図書館が所蔵する能・狂言を描いた絵画資料から、特に貴重な 3 点をカラー図



(古典芸能研究センター企画展「能・狂言絵の世界」)

■地域連携活動・社会貢献活動

1 社会貢献の概要

平成 28 年度に地域連携の組織的・総合的な推進及び円滑な運営を目的として、地域連携推進センターを新設し、その活動をまとめた地域連携活動報告書を毎年発行している。

2 須磨区との地域連携

大学(須磨キャンパス)の地元である須磨区との包括連携締結(2006年3月)や、大学に隣接する神戸市立須磨離宮公園との「キャンパス・パーク連携(CP連携)協定(2006年12月)」に基づき、多数の学生・教職員が行政機関、地域団体等が主催する催しへの参画をはじめ、「まちづくり」、「学習支援」、「人づくり」等に積極的に取り組んだ。須磨離宮公園とは、定例会議(月1回)を開催し、1年を通じて様々な催しに学生が参加している。

また、平成 26 年度より須磨区主催の「地域連携事業 4 大学と須磨区の情報交換会」において、須磨区と連携する 3 大学「神戸大学医学部保健学科(須磨区)」「神戸市立看護大学(西区)」「流通科学大学(西区)」と意見交換を行うとともに、須磨区主催の「総合行政調整会議」に加わり、須磨区との連携をより強化している。さらに

版と解題・翻刻で紹介した。また、併せて、センター展示室で企画展「能・狂言絵の世界」を開催した。さらに、第 50 回コスモス祭に参加して須磨キャンパスでも資料集収録の絵画資料を中心に展示し、講演と資料紹介も行った。

その他、京都駅ビル「京都美風～古典芸能を楽しもう!能・狂言の世界へようこそ」展、香雪美術館の企画展「四世梅若実襲名記念 幽玄の世界への誘い」への所蔵資料出品協力、新聞・テレビの取材対応など、さまざまな手段で古典芸能・民俗芸能に関する研究機関としての発信を行った。

市民にキャンパスを開放し、図書館の利用、高齢者への給食サービス、子育て支援事業、公開市民講座及び健康講座等を実施している。

(1) 消防団協力大学

神戸市消防局より消防団協力事業所として認定(平成 22 年 10 月)され、神戸市で最初の「消防団協力大学」として須磨消防署を拠点に学生消防団員が地域の防火・防災活動で活躍している。

(2) ふれあい給食

学生、教職員等で構成する「神戸女子大学プロジェクトコスモス」が、地域の NPO 法人「輝たかくら台」と連携し、高倉台地域に住む 65 歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に月 1 回(年 10 回)学生食堂給食サービスを主催している。

(3) 高倉中学校前壁画制作プロジェクト

神戸市建設局や中学校教員、生徒とともに本学イラスト部及び美術部は、高倉中学校前通学路のトンネルの落書き対策として、壁画制作に取り組んだ。画材選びや作業方法を協議した後、近隣の小学生も招き壁画を仕上げた。

(4) 婦人市政懇談会問題別・年代別懇談会

高倉台婦人会とともに毎年参加している。H30年度は、「今後、期待する子育て環境について」年代別に分かれ、意見交換を行った。また、年代ごとに発表するなどした。

(5) 神戸マラソン

須磨区内の沿道において甲冑姿で声援するボランティア活動を実施し、大会を盛り上げた。

その他、学科及び研究分野等の特長を活かした継続性のある地域連携活動を以下のとおり行い、活動内容について、ホームページ等で広く発信した。

- ・須磨浦通りを活性化させようプロジェクト
- ・算数・数学クリニック（児童対象）
- ・須磨区の花であるコスモスの植付け計画（須磨区主催）等



(防火・防災訓練で活躍する学生消防団)

3 中央区等との地域連携

ポートアイランドキャンパスにおいては、平成20年1月に神戸市中央区と地域連携協定を締結しており、同区主催の行事や福祉活動への参画、食育・幼児教育や福祉等に関する大学の教育・研究資源を活用した市民への情報提供等を行っている。

平成30年度には、第9回中央区小学生ドッジボール大会（学生4名）、中央区区民まちづくり会議安心定住部会と中央区社会福祉協議会が連携した「ハートフルフェスタ2018」（学生34名）に加え、神戸マラソンボランティア（学生130名）及び神戸まつり（学生20名）の他、以下の活動に参加している。今後も学生の参加を積極的に支援するとともに、地域社会とともに諸活動の活性化を推進していく。

- ・健康神戸21推進事業「第2回企業交流マラソン in KOBE」
- ・きずなDAY（子育て支援事業）

※神戸女子短期大学・神女中山手保育園の連携

4 ポートアイランド4大学の連携

ポートアイランドキャンパスでは、平成19年度に近接の神戸学院大学、兵庫医療大学、神戸夙川学院大学と

連携協定を締結して以降、4大学の教育・研究の交流及びポートアイランド地域への貢献を目的とした共同事業活動を展開してきた。平成28年1月に連携協定締結後、10年目の節目を迎えたことから、連携・交流を一層深めるためにより具体的な連携・協力事項として以下の7項目を掲げ、新たに「神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学、夙川学院短期大学及び兵庫医療大学の連携協力に関する協定書」を平成29年3月に締結するに至った。

平成30年度には、教職員の研修（FD・SD研修会、講演会等）の協同実施のほか、「高齢者のためのADL体力アップ教室」、「親子であそぼう くじらくらぶ」等のプログラムに参画した。

5 ボランティア活動

学生は、地域の人々との交わりやボランティア活動を通して、地域社会に生きることを体験的に学び、自立心・対話力・創造性を育てている。東日本大震災及び熊本地震災害被災地での復興ボランティア活動への参加をはじめ、地域の抱える課題が多様化する現在、本学に対する社会貢献活動や学生のボランティアの要請は年々増加している。

「地域連携推進センター」の開設から2年が経過し、学生及び教職員の円滑な地域連携活動を推進するとともに、教育と学術研究成果の地域への還元、地域社会とのつながりを深める活動を支援するための体制整備により一層積極的に取り組んだ。

須磨キャンパスにおいては、地域連携推進事務室が受理した地域連携活動への参加要請が149件あり、半数は新規に依頼を受けた。そのうち学生に案内したボランティア活動等は136件におよび、延べ479名の学生が参加した。PIと情報を共有する依頼も増加している。その他、教育委員会との連携により須磨区を中心に市内の小学校で学生が授業のサポートを行うスクールサポーター制度や、公立幼稚園、私立幼稚園、認可保育所等で多数の学生が教育や保育関係の活動に参加している。

ポートアイランドキャンパスにおいては、前述の中央区及びポートアイランド4大学連携事業に係るボランティア活動のほか、認知症カフェ、文化と平和のつどい2018及び回想法市民講座等に、延べ80名の学生が参加しており、参加者は年々増加している。

6 公開市民講座の開催

地域とのコミュニケーションを目指して昭和56年度より開講している公開市民講座は、春季（須磨）、秋季（PI）の2期2会場で「いきいき生きる～地域と生きる」をテーマに各5日間開催した。また「爽やか健康講座」（全10回）には地域の高齢者等が多数参加した。

7 オープンカレッジの開講

神戸女子大学教育センター（三宮キャンパス）では、広く地域の人々を対象としてオープンカレッジを開講している。講座の内容は、語学・歴史・教養・健康・古典芸能など多岐にわたる。またシニア世代を対象とした無料の講座や特別企画の講演会なども開催している。受講人数は延べ3,105名と好調である。

8 高大連携等推進事業

平成15年度から兵庫県教育委員会と「高大連携等推進事業」に関する協定を締結し、県立高校の高校生が大

学の提供した科目を受講できる事業を推進してきたが、平成30年度2月に事業が廃止となった。本学の新たな動きとして大学独自で高大連携の委員会を立ち上げ、予算をとり高大連携を個別に図ることとした。

【H30年度締結校一覧】

- ・蒼開高等学校
「神戸女子大学との教育交流に関する協定書」及び「覚書」を6/14（木）に締結した。
- ・六甲アイランド高等学校
「神戸女子大学との教育交流に関する協定書」及び「覚書」を11/8（木）に締結した。

■学生支援活動

1 奨学金の採択状況

本学では日本学生支援機構の奨学金（貸与）をはじめ、学園独自の奨学制度や関連団体からの奨学金（給付）等により、概ね学生の2名に1名が奨学金を利用している状況にあり、奨学金の受給を前提に大学へ進学する者が多い。

昨年度より日本学生支援機構において「給付型」奨学金が試験的に導入されたところであるが、今後も個々の学生の状況に応じた適切な支援に努めている。

2 学生表彰の状況

学生表彰制度に基づく平成30年度の表彰者は下表のとおりである。

【大学】

表彰区分		個人	団体
1	学業優秀で品行方正な全学生の模範となる者(学部生)	10名	—
2	課外活動において特に優秀な成果を挙げた者	4名	2団体
3	社会貢献活動において社会的に高い評価を受けた者	2名	1団体
4	公的機関から表彰された者	5名	3団体
5	学内外の活動において他の模範となる行為があった者	6名	2団体

【短期大学】

表彰区分		個人	団体
1	学業優秀で品行方正な全学生の模範となる者	—	—
2	課外活動において特に優秀な成果を挙げた者	—	—
3	学内外の活動において他の模範となる行為があった者	1名	1団体

3 学生寮等の利用状況

学生寮の平成30年度利用者は行幸寮101人（入居率93.5%）、天神寮68人（入居率97.1%）である。

寮生活においては、寮生間の交流を深めるための様々な行事が実施されており、日常生活支援とともに生活の充実に向けた取り組みを展開している。

また、ポートアイランド内の学生専用マンション（防犯カメラ、オートロック、カードキー等最新設備

完備）に本学専用フロアを設置しており、平成30年度は48名の学生が入居している。キャンパスの近隣に位置しており、通学の利便性が高く、防犯設備等の面からも一定の需要がある。また、六甲アイランドにある女子学生専用マンション（送迎バス付）にも84名の学生が入居している。

4 健康増進への取り組み

(1) 健康診断・健康相談・応急処置

保健室では、健康診断やケガ・急病の応急処置及び医療機関の受診支援を行うとともに、心身の悩みに関する健康相談を行っている。利用件数は、学生数の変動により大学で増、短大で減となっている。

(2) 健康調査・個別支援

入学時には健康調査を行っている。心身の状態や予防接種の実施状況を把握し、支援が必要な学生には個別相談を行い、疾病や障がいがあっても健康で安心な学生生活を送ることができるよう、関係部署と連携した支援に努めている。

(3) 心身のサポート体制の充実

学生が心理的な悩みや問題を相談できる学生相談室では、カウンセラー（臨床心理士）を配置して学生からの相談に常時対応しており、保健室と連携して心身のサポート体制を充実させている。

(4) 健康づくり啓発強化

毎月、KISS システムや掲示により健康情報の発信を行っている。また、須磨キャンパスでは、AED 実技講習を PI キャンパスでは「女性のための健康セミナーの実施」等健康づくりの啓発を行っている。

5 教職支援

教職支援における平成30年度の活動等は以下のとおりであり、神戸女子大学で155名（うち学校教員79名、幼稚園教員17名、※保育士59名）、神戸女子短期大学で88名（うち幼稚園教員6名、※保育士82名）が教員として採用されている。（※保育士には「こども園」就職者を含む）

【大 学】

「神戸女子大学教職支援センター」は、全学の教職課程運営の拠点として、教職協働で学生支援と教職課程の運営を行い、教職支援センター構成員と運営委員会を中心に、教員が主体となって指導している。

教育職員免許法の改正に伴い、全学科・専攻（16学科・専攻）の教職課程再課程認定申請を行い、平成31年1月25日に認定された。

また、2020年度開設に向けた教育学科の中学校免許（英語）、健康スポーツ栄養学科の中学校・高等学校免許（保健体育）の教職課程認定申請についても平成30年度末に申請書類を提出した。

【短期大学】

教職を目指す学生に対し、教育実習、保育実習、教員採用試験、保育士採用試験等の支援を行っている。教育職員免許法の改正により、「中学校教諭二種免許状（家庭）」、「栄養教諭二種免許状」、「幼稚園教諭二種免許状」に係る教職課程再課程認定申請を行い、平成31年1月25日に認定された。

[平成30年度の主な取り組み]

- ・教員免許状更新講習の継続開設（463名受講）
- ・兵庫県教育委員会との共催による中堅教諭等資質向上研修の実施（54名受講）
- ・「教職卒業生ネットワーク」の活用促進
- ・全教職員対象「教職課程研修会」の開催（通算第7回）
- ・教職課程担当教員の業績積み上げのための「神戸女子大学教職課程研究」第2号を発刊
- ・教員養成制度改革への取り組み等

[平成30年度の主な取り組み]

専門指導員を配置し、教員採用・保育士採用に関する筆記・実技試験対策、面接指導及び履歴書の添削指導等を実施した。

6 就職支援

キャリアサポートセンターでは、資格取得講座の開講やキャリア教育を通じて学生の就職を支援しており、平成31年3月に大学・短期大学を卒業した者の進路状況は下表のとおりとなっている。

区 分	卒業生	就職希望者	就職者	就職率	就職以外の進路決定者	
					進学者	その他
神戸女子大学	822名	768名	754名	98.2%	22名	32名
神戸女子短期大学	262名	233名	230名	98.7%	17名	12名

【大 学】

(1) 就職状況

平成31年3月卒業生の求人倍率は1.88倍と、前年より0.10ポイント上昇し、学生にとって良い環境であった。本学の就職率も平成31年5月1日現在で98.2%（前年度比-0.1ポイント）、進路決定率では94.4%（前年度比+2.2ポイント）と高い水準で推移した。

平成30年度は前年度に引き続き企業との関係強化・企業の推薦枠の拡大に努めた。学生と企業との接点を増やす施策として開催した3年生対象の学内企業説明会には268社の企業（地方自治体含む）を招き、学生の参加数も過去最高の6,467人となった。また、学生の就職に対する意識高揚を図るとともに、

4年生を対象とした合同・単独企業説明会を実施するなど、就職に向けたきめ細やかな支援を充実させた。

(2) 資格取得講座の開講状況

平成30年度はMOS検定試験講座など多様な講座を開講し、受講生数は延べ958名（須磨キャンパス）となり、前年度比112%であった。資格サポートオフィス開設以来、最高人数となり学生の意識向上が窺える。低年次から就職活動を意識させ、資格取得の準備を促したことにより、受講生の56%を1・2回生で占めている。

【短期大学】

(1) 就職状況

前年度に引き続き経済状況の回復傾向が見られ、民間企業からの求人受付数は増加した。学生が希望する進路を確保することを重点目標にして取り組み、就職率は平成31年4月末現在で98.7%（前年度比-0.5ポイント）、進路決定率も98.9%（前年度と同じ）と推移している。

また、大学・専門学校等への進学者は17名であり、前年度に比べ3名減少したが、その分、就職者数が増加する結果となった。

平成30年度は特に学内企業セミナー・説明会の開催数をさらに増やした。春に学内企業説明会を新規で開催し、19社に対し学生92名が参加した。秋にも業界セミナーでは、8社に対し学生428名の参加があった。さらに2月開催の企業研究会を前年度の70社から78社へと一割以上増やし、1,726名の学生が参加した。これ以外に、ハローワークとの連携強化、Sナビ導入により、個別指導の充実など全方向からの学生支援をきめ細かく積極的に実施した。

(2) 資格取得講座の開講状況

資格取得講座の中でも学生のニーズが高いMOS Word 2013、MOS Excel 2013、秘書検定2級対策、医療事務講座、公務員対策講座を実施した。また、新たにeラーニングによる簿記検定3級対策を開設した。今後も学生のニーズに応じた講座を選定し、定期的にガイダンスを行い、学生の就活力の向上につなげていく。

■自己点検・評価への取り組み

学校教育法第 109 条の規定に基づき教育研究等に関する以下の点検・評価活動を行っている。

- (1) 平成 29 年度自己点検・評価報告書の作成
- (2) 「活動計画書」「活動報告書」による各部局等の目標達成度の検証
- (3) 教育目標である「三つの標語」に基づく到達度調査を開始した。

■学生募集

1 令和元年度入試の状況

区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	充足率
神戸女子大学	865 名	8,209 名	8,178 名	2,258 名	898 名	103.8%
神戸女子短期大学	340 名	696 名	693 名	479 名	267 名	78.5%
合計	1,205 名	8,905 名	8,871 名	2,737 名	1,165 名	96.7%

2 主な受験生確保の方策

広報活動については、平成 30 年度も引き続き本学園の社会的評価を高めることを主眼に、事業計画に基づき、積極的な広報活動を展開した。

①高校訪問戦略の強化

高校ランクや時期に合わせた情報内容と提供ツールを作成し、訪問効果を上げるよう務めた。

②受験生向け映像による広報展開

大学プロモーション動画は、再生回数 25 万回、管理栄養士養成課程紹介動画は 11 万回を達成し、一定の成果が表れている。

③高大接続改革への対応

令和 2 年度入試概要を決定の上、3 月末にホームページで入試方針を公表した。詳細については、引き続き検討していく。

④祝日授業見学会の開催

7/16 (月) PI キャンパス、10/8 (月) 須磨キャンパス、11/23 (月) PI キャンパスで実施し、参加者は前年度より 67 名増の 192 名になり、高校 3 年生の出願率は、約 9 割に達した。



(神戸女子大学PV #全員ヒロイン)



(栄養学特集マンガ 潮風デイズ)

■施設整備

1 施設の充実

【須磨キャンパス】

- (1) 学生生活環境の整備
 - ①食堂棟地下のカフェスペース（マーベル）のレイアウト変更と販売エリアの整備
 - ②トイレ設備の用途を明確化するため、トイレサインの増設及び改修
 - ③平成30年4月からキャンパス内へ神戸市バスの乗り入れを開始
- (2) 教育環境の改善
 - ①B201・D219 講義室の机、椅子の入れ替え更新及び床材の張替え
 - ②C館飼育室照明のLED化更新工事。
 - ③M館講義室内の太陽光照射対策として遮光カーテンの取り付け
- (3) その他
 - ①B館の鳩糞害対策として、鳥除けネットの設置
 - ②防災センター中央監視盤UPSの更新工事
 - ③M館・F館の外壁改修工事

【PIキャンパス】

- (1) 学生生活環境の整備
 - ①センターホール・外灯など照明器具のLED化工事
 - ②A・B館屋上防水工事
 - ③D館学生サロンのカーペット張替え
 - ④通路高木伐採
 - ⑤ターシャ・チューダーコレクション展示棚の設置
- (2) 教育環境の改善
 - ①C館屋上機械室屋根補修工事
 - ②講義室・図書館・研究室照明器具のLED化工事
 - ③施設・設備の長期維持に向けた機器の定期更新（昇降機、空調機、未使用機器撤去等）
 - ④C館空調機更新工事
 - ⑤A館9階調理実習室吸気ファン更新工事
 - ⑥調理実習室空調機分解洗浄
 - ⑦調理実習室椅子更新
 - ⑧テニスコートフェンス補修工事

【三宮キャンパス】

- (1) 学生生活環境の整備
 - ①体育館棟耐震工事
 - ②体育館棟空調機更新及び新設工事
 - ③高圧受電設備更新工事
 - ④赤外線センサー改修工事
 - ⑤噴水ポンプ更新工事

2 情報処理機器の整備等

セキュリティ対策に係るネットワーク機器、情報教育設備の定期的な更新を行っている。

- (1) ネットワーク認証システム更新
- (2) 須磨 M203・情報教室と図書館内自習室のパソコン更新
- (3) 須磨 M203、M204 両情報教室のAV機器更新

3 防災への取り組み

【須磨キャンパス】

- ①防災意識向上のため、非常放送・負傷者搬送・消火設備の使用方法等の総合的な防火・防災訓練を行った。
- ②神戸市からの依頼により、29年度に引き続き「災害用備蓄食料・物資」の保管場所として施設課倉庫を提供し、期限切れ物資を更新した。
- ③不具合のあった図書館非常用蓄電池設備（非常照明等）の非常時の正常な動作を確実なものとする機器の更新工事
- ④須磨キャンパス敷地内の砂防ダムからの流出経路に堆積した土砂を撤去した。

【PIキャンパス】

- ①学生150名参加で地震・津波発生想定防災避難訓練を実施した。
- ②災害用備蓄品の展示
- ③ポーアイ4大学総合防災訓練に参加
- ④誘導灯LED化工事



（須磨キャンパス内から発車する神戸市バス）

■管理運営

1 神戸女子大学大学院看護学研究科の設置

看護学研究科の設置は、看護学部設置時より計画していたものであり、看護学部が完成年度を迎える翌年の令和元年度の設置に向け準備を進めた。看護学研究科においては、建学の精神に則り卓越した看護実践力と研究能力の基盤を備えた看護職、高度専門職業人として社会に貢献できる人材を育成する博士前期課程（入学定員 8 名）及び看護学の発展に寄与する看護系教育機関の教員・研究者、保健医療福祉施設における実践者や管理者として社会に貢献できる人材を育成する博士後期課程（入学定員 3 名）を同時に設置することとした。なお、博士前期課程に高度実践看護師（専門看護師）として、慢性疾患看護専門看護師と小児看護専門看護師の 2 コースを設けることにした。

2 神戸女子大学看護学部看護学科の入学定員増加

平成 30 年度に完成年度を迎える看護学部看護学科においては、教育の質を低下させない範囲内の学生数として、令和元年度より入学定員を 10 名増加し、90 名とした。

3 行吉学園中期目標・中期計画の策定

平成 30 年度から急進する 18 歳人口の減少を見据え、本学で培う能力や教育方法の特長を明確化し、本学が取り組む施策の方向性を社会へ示すため、2019 年 4 月を始期とする 10 項目から成る中期目標・中期計画を策定し、今後の事業を展開していくこととした。

4 収益的事業の展開

(1) オープンカレッジ

大学の知的財産の地域社会への還元を目的として、語学、歴史、自然科学、教養、健康等様々な分野で質の高い講座から生活に密着した内容の講座を開講しており、現代社会における生涯学習の場としての役割を担っている。

昨今、人生 100 年時代の到来と言われており、また一方では少子化が進むなか、ミドル・シニア世代を対象としたアカデミックな講座や現代社会においてニーズのある講座を開講し、かつ継続して受講できることに重点をおいている。平成 30 年度は年間延べ 3,105 名が受講している。

(2) 貸室（教室・体育館等）

試験会場、神戸太極拳協会、各学会・研修等、多数の機関が利用している。

(3) 卒業貸衣裳、自販機手数料等

学内に設置する自販機（食堂業者が設置するものを除く）の管理、卒業式用の貸衣裳紹介、自動車教習所の紹介等の収入があった。

5 教育後援会との交流強化

大学と家庭の間の連絡を緊密にし、大学の教育振興に寄与することを目的として設立された教育後援会から、学生に対する各種セミナーの実施や資格取得補助、育英奨学金制度等、学生生活の充実に向けた多くの支援を得ている。

後援会の組織運営や各事業の実施については、後援会事務局と大学教職員との協力関係により運営されており、引き続き、後援会の事業推進に向け連携を強化するとともに、情報交換の場や交流の機会を通じて相互の信頼を深めつつ、より良好な関係を維持していく。

【学生支援事業】

- ・学生対象セミナー（メイクアップ講座・テーブルマナー講座）
- ・キャリア支援補助（資格取得補助）
- ・育英奨学金の給付
- ・大学祭、卒業祝賀会等の補助
- ・記念品の贈呈

【保証人支援事業】

- ・教育懇談会（本学会場・地方会場）
- ・キャンパス見学ツアーの開催
- ・会報誌の発行

II-2 神戸女子大学附属高倉台幼稚園

1 園児数

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

区 分	クラス	在園児	入園児	合 計
2歳・満3歳児	1	—	7名	7名
3歳児	2	4名	44名	48名
4歳児	2	39名	3名	42名
5歳児	3	66名	1名	67名
合 計	8	109名	55名	164名

2 子育て支援

(1) 2歳児入園の開始 5名入園

(2) にこにこクラブ (兵庫県補助対象事業)

未就園児の親子を対象として、毎週月・火・金曜日に実施しており 95 回実施した。(火曜日は教育実習の一環)

①幼稚園の生活に向けて、安定した母子分離を図る。

②幼児、保護者の交流を深め、情報交換の場とする。

(3) わくわく幼稚園 (兵庫県補助対象事業)

在宅幼児を小学校教育へ円滑に移行させるため、在園児と同等の専門的な幼児教育を計画的に実施した。

【実施回数】10回 【参加人数】親子平均7組

(4) みんなの幼稚園 (神戸市私立幼稚園連盟補助対象事業)

未就園児が幼稚園教育を体験し交流を深め、安定した家族関係をつくることを目的として実施した。

・未就園児親子登園日 (95回)・園庭・園舎開放 (29回)

・教育相談 (68回) ・母親教室 (6回)

(5) 園庭開放

第1・第3水曜日 (13:30~15:30)、地域の親子を対象に園庭を開放している。

3 地域との関わり

園児が地域行事に参加し、地域の方々と触れ合うことにより、様々な人と関わる力を身につけている。

(1) シルバーカレッジの昔あそび研究会との交流

(2) 高倉台ふるさとまつりへの参加

(3) 高倉台一人暮らしの方とのクリスマス会への参加

(4) トライやるウィークの中学生受け入れ

(5) 小・中学校との交流・連携

4 施設の充実

(1) 園庭田植え用地整備

(2) 園庭園舎側溝回り改修

(3) 1階トイレ給水管改修

(4) 技術員室改修

(5) 砂場改修





「自立心・対話力・創造性」
を培う教育を目指しています

学校法人行吉学園

〒650-0046

神戸市中央区港島中町4丁目7-2

Tel :078-303-4712

Fax:078-303-4713